

令和4年度事業報告

I. はじめに

令和4年度においても、新型コロナウイルスの影響が少なからず残るなか、おおむね計画どおり各種業務を執行することができ、VICS サービスについて安定的な提供を行うことができた。

令和4年度のVICS対応車載機の出荷台数は、半導体の供給問題やコロナの影響もあるなか、約356万台（対前年度比102%）となった。

この結果、「経常収益」は当初予算より微減の約45億円を確保、「経常費用」は、コスト縮減や執行の見直し等により当初予算より約4億円減の約47億円となり、「当期一般正味財産」は約2億円の減と、当初予算（約5億円の減）より改善することができた。

また、2015年4月からサービスを開始したVICS WIDEに対応する車載機出荷台数は約329万台で、VICS対応車載機出荷台数の92%を占め、各メーカーにおけるVICS WIDE対応への切替えが順調に進み、VICS WIDEユーザーも順調に増加していることを確認できた。

II. VICS 中期ビジョン 2023 の策定

100年に1度と言われる自動車の大変革や社会全体のDX、AI、IoT、CASEの進展などの大きな潮流は一段とスピードアップし、社会や生活、そしてモビリティの果たす役割に大きな変化が求められていることから、モビリティを支えているVICSセンターもその変革に的確に対応していくことが求められている。

そのようななか、社会環境やドライバーのニーズなどを踏まえ、VICSセンターの当面の経営・事業の指針として、「VICS中期ビジョン2023」を2月に策定した。

策定にあたっては、関係機関と数多くの意見交換を実施した。

ビジョンには、「より正確に、より安定的に、より多様に多彩に」を方針に、23の重点施策を列挙し、令和5年度（2023年度）より順次具体化を図る予定である。

III. 「業務見直し」のスタート

最近の車載機出荷台数や中長期的なトレンド予測も踏まえ、ドライバーや社会のニーズを踏まえるとともに、より安定した経営基盤を目指して、VICS業務全般の業務見直しに12月より着手した。見直しの早期着手が可能なものについては、令和4年度中に実施し、それ以外の業務については、来年度以降順次実施することとした。

IV. 事業執行状況

（1）提供情報内容拡充と品質の維持・向上

①プローブ情報総合化実証実験の全国展開

民間プローブ情報を活用することにより、従来の警察・道路管理者の情報を補強・補完する道路交通情報サービス（プローブ情報総合化実証実験）について、全国のデータを処理できる全国対応版総合化サーバへの切替えが完了するとともに、渋滞を判別するロジックの精度向上が確認できたことで、令和4年7月からは、実証実験対象地域を全国に拡大した。

全国拡大後も安定的に稼働中（稼働率100%）で、全国平均2.2倍まで交通情報提供量を拡大することができた。

②新たなサービスの拡大

令和3年から開始した大規模イベント開催時における「イベント及び規制のう回エリア情報表示サービス」の提供について、箱根駅伝や東京マラソン等の日本各地でのイベントに拡大した。

また、令和3年12月から新潟県で開始した大雪時通行規制予告情報のポップアップ提供についても、令和4年12月から北陸・近畿地区の10府県に提供地域を拡大した。

③FM 情報量増加への対応

旧渋滞符号停止で発生する空き容量利用に関して、VICS 車載機が利用する「共通領域」と VICS WIDE 車載機のみが利用する「VICS WIDE 専用領域」があるなか、今後は拡大が見込まれる「VICS WIDE 専用領域」の容量のひっ迫している14都府県の容量バランスの見直しを実施し、「共通領域」、「VICS WIDE 専用領域」双方での余裕を確保した。

（2）センター及び放送所システムの効率化・高度化

①システム 2.0 の整備

令和4年10月末までに関東1都6県の放送所設備のバージョンアップが終了し、全放送所のシステム 2.0 への完全移行が完了した。また、プローブ情報総合化実証実験の全国展開や旧符号の送出停止等に対応したシステムの機能追加等を実施した。さらに、寿命を迎えた京橋センターのマシン室の UPS（無停電電源装置）・空調設備の設備更新を完了した。

②災害対応力の強化

京橋センターから第2システムセンターへの切替え運用を想定した JARTIC との合同訓練や、NHK と連携した京橋センターと VICS 墨田放送所（スカイツリー）での障害発生を想定した訓練を継続実施するとともに、外部からのウィルス侵入を想定したサイバーセキュリティ訓練を実施することにより、大規模災害時・サイバー事案発生時の対応力強化を図った。

③FM 多重放送技術の継承

コロナ禍により見合わせていた FM 多重放送技術継承テクニカルワークショップを3年ぶりに再開することとし、令和4年度は名古屋と福岡で開催した。ワークショップでは、VICS 職員による「VICS センター概要」等の講義や NHK テクノロジ

ーズ職員による VICS 放送所設備の実機（予備機）を使った測定実習を実施した。

（3）新たなニーズへの適切な対応

①ユーザニーズ調査時代の変化に応じた外部環境・ニーズの把握と対応

本年度も、VICS 認知度および交通情報ニーズの Web 調査を実施した。「より正確な渋滞情報」や「地方部の道路での渋滞情報提供」、「狭い道路での渋滞情報提供」を望む声が変わらず上位であることや渋滞情報のカバーエリアの満足度が関東 1 都 6 県以外で増加していることなどを確認した。

②VICS 車載機出荷台数予測

活動計画策定や方針判断に活用すべく、VICS 車載機の出荷台数予測を実施した。中長期的には、人口減少からくる自動車保有台数減少に伴って漸減する見通しはそのままに 2021 年度の実績や最新の経済状況を加味した予測値に更新した。短期的には最新の情報から半導体の供給制約を主とした新車販売台数減少の解消やペントアップ需要の解消のシナリオを作成して予測値を計算し、VICS センター内で活用した。

③将来の VICS サービスに関する環境像調査

VICS サービスに係る環境としてスマホナビを含めた現状のナビゲーションを OEM やスマホナビメーカー等を調査し、コネクテッドナビの増加やスマホナビアプリへの交通情報提供など、VICS センターの将来にとって有益となる情報を整理した。

（4）継続施策の改善・進化

①広報・普及促進活動の一層の推進

プローブ情報総合化実証実験の全国展開の記者発表会を開催し、テレビ、ラジオ、地方紙および各種 Web ニュースにも数多く取り上げていただき、より多くの人に活動を周知することができた。

また、ステークホルダー向けの情報発信（情報公開）として、月間機関誌 VICS NEWS の発行を継続した。

②業務環境改善の取組

また、テレワークの普及に対応するために京橋センター内のネットワーク環境の増強等を進めるとともに、テレワーク環境整備等に応じた、OA システム利用ルール（内規）の改訂やコロナ対応の政府方針に沿ったタイムリーな対応見直しを実施した。

V. 事業計画執行のための会議の開催

(1) 理事会

①令和4年 5月26日 令和4年度第1回理事会

第1号議案 令和3年度事業報告(案)並びに令和3年度計算書類等(案)承認の件

第2号議案 評議員候補者8名推薦につき承認の件

第3号議案 令和4年度定時評議員会招集の件

第4号議案 役員等賠償責任保険の契約内容につき承認の件

第5号議案 職員給与規程一部改正の件

以上が審議され、いずれも原案どおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

プローブ情報総合化実証実験の地域拡大(全国展開)について

②令和4年 6月16日 令和4年度第2回理事会

第1号議案 理事長、専務理事及び常務理事の選定の件

第2号議案 業務執行理事の業務分担の件

以上が審議され、いずれも原案どおり承認された。

③令和4年 11月17日 令和4年度第3回理事会

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

④令和5年 3月 9日 令和4年度第4回理事会

第1号議案 2023年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

第2号議案 令和4年度臨時評議員会招集の件

以上が審議され、いずれも原案どおり承認された。

報告事項 「VICS 中期ビジョン2023」について

普及促進インセンティブ見直しについて

⑤令和5年 3月31日 令和4年度第5回理事会(書面決議)

第1号議案 常務理事1名の選定の件

第2号議案 業務執行理事の業務分担の件

以上が審議され、いずれも原案どおり承認された。

(2) 評議員会

① 令和4年 6月18日 令和4年度定時評議員会

第1号議案 令和3年度計算書類(案)承認の件

第2号議案 理事16名選任の件

第3号議案 定款一部改正の件

第4号議案 常任理事並びに非常勤監事に対する報酬等支給基準の一部改正の件

以上が審議され、いずれも原案どおり承認された。

② 令和5年 3月31日 令和4年度臨時評議員会(書面決議)
理事1名の選任が書面決議にて承認された。

(3) 事業報告会

Web で開催。

(4) 事業懇談会

- ① 令和4年 5月20日 令和4年度第1回
- ② 令和4年11月10日 令和4年度第2回
- ③ 令和5年 3月 3日 令和4年度第3回

(5) 車載機連絡会

- ① 令和4年 5月19日 令和4年度第1回 (通算第80回)
- ② 令和4年 8月25日 令和4年度第2回 (通算第81回)
- ③ 令和4年11月10日 令和4年度第3回 (通算第82回) 書面報告
- ④ 令和5年 2月22日 令和4年度第4回 (通算第83回)